

教科目名 実務実習 (Practical Training)

学科名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 1年

単位数など : 選択 2単位

担当教官 : 専攻主任

授業の概要 県内外の企業や公的研究機関などにおいて、実務実習を一定期間行うことによって、専門分野での自分の知識を確かめ、さらに発展させるとともに勉学の目的を明確にする。また、社会が要求し期待する人物像を具体的に把握するなど、職業人としての心構えについても学ぶ。さらに、実際のおよび実践的技術力を養成し、専門的能力、問題解決能力の重要性を理解させ、その後の専攻科における学習や特別研究をさらに実りあるものにする。実務実習の内容を報告書として提出させ、報告発表会を行う。		
到達目標 大分高専目標 (D2), JABEE 目標(d2c)(d2d)(h) (1) 専門分野での自分の知識を確かめ、生きた知識として確固たるものとする。 (2) 指導者として社会から期待される人物像を具体的に把握し、その心構えを養う。 (3) 専門基礎学力を自在に運用し、分析能力、問題解決能力、表現力、創造性を養う。 (4) 機械・環境システム工学における広い素養と専門力を確実に身につける。		
回	授 業 項 目	内 容
	1. ガイダンス 2. 実習先の決定 3. 実習 4. 報告会	5月に専攻主任よりガイダンスがある。 7月中に申し込みを行う。 実習期間は2週間以上とする。 実習後、各自報告書をまとめ、報告会を行う。
履修上の注意		(1) 実務実習終了後、実習証明書、実習報告書を提出する。 (2) 専攻科指導教官が集まった場所で実務実習報告会を行う。
教科書		
参考図書		実習先の業務に関する教科書
関連科目		本科学科科目、卒業研究、特別研究
評価方法		実務実習の内容を記した報告書および報告発表会、受け入れ先からの報告書を総合して評価する。評価方法としては、専攻主任が報告書資料(わかりやすさ)、発表内容(わかりやすさ・具体性)、話し方(速さ・声の大きさ・明瞭さ・間の取り方)、動作(ポイント動作・ジェスチャー・アイコンタクト)、質疑応答(質問の理解・的確な応答)について100点法により評価する。